

もともと手先が不器用な方で、縫い物も編み物も苦手でした。でも主人の仕事の関係でヒューストンに住んでいたとき、近所のアメリカ人の奥様がビーズ手芸を教えてくださいました。初めて作った作品は黒いビーズとバラ型ビーズをただつなげただけのもの。でもそのとき、ああビーズって美しいなあ、楽しいなあって思っただけです。

日本に帰ってからは、指輪やペンダントなど、もう少し複雑な作品も手がけるようになりまし。最近ではスワロフスキーやベネチアンガラスなど、ちょっと高価な素材も取り入れています。いいビーズを使えば、結婚式にもつけていけるような素敵なジュエリーができあがるんですよ！

有名ブランド店で素敵なネックレスを見ると、何度も通ってデザインや長さなどをチェック。自分なりにアレンジしてビーズで作ってみます。思い通りの作品ができるとうれしくて、お友達に見せたら、「私にも作って!!」と頼まれることもあるんです。

以前から美術館やアート展を見るのが好きでした。でもビーズを始めてから、少し見方が変わってきたような気がします。ただ単に「綺麗だな」だけではなく、「古代の人はこんな配色をしていたんだ」とか「エジプトのアクセサリーって斬新だな」とか。もう一歩、深く見る目のできたのかもしれないね。

「こんな人・こんな趣味」のページでは、登場していただける方を募集しています。詳しくは裏表紙をご覧ください。

ビーズの煌めきに魅せられて

煌めくビーズをただつなげるだけで、世界でひとつだけのアクセサリーができあがる。アメリカ暮らして出会ったビーズに魅せられ、創作の世界を広げる福田さんをお訪ねしました。

こんな人・こんな趣味

福田雅子



横浜市在住。6年前、ご主人の仕事の関係で暮らしたアメリカ・ヒューストンで隣人からビーズ手芸を教わり、その美しさに心惹かれる。以来、趣味でビーズ制作を続け、いまでは作品が友人の間で話題を呼び、制作を依頼されることも。



ちょっとあいた時間が制作タイム



お友達にも人気だったバッグ型ペンダント



スワロフスキーのエンジェルは携帯ストラップに



トップを付け替えられるペンダント



お気に入りの作品たち

福田雅子さんの作品は、このサイトでご覧いただけます
<http://fukuda-beads.cocolog-nifty.com/photos/beads/>